

コアゾーン等整備検討懇話会について

『第1回 コアゾーン等整備検討懇話会』 要旨

1. 日時・場所

- ◆日時:平成 22 年 7 月 23 日(金) 午後 2 時～5 時(現地視察を含む)
- ◆場所:姫路キャッスルホテル 雅の間

2. 内容(議題)

- (1) 会長、副会長の選出について
- (2) 姫路駅周辺の整備状況について
- (3) コアゾーン等の整備について
- (4) 意見交換
- (5) 現地視察

3. 議事の結果及び意見交換の要旨

(1) 会長、副会長の選出について

事務局案として、会長には小林正美明治大学教授を、副会長には田原直樹兵庫県立大学教授を提案し、全会一致で承認される。

(2) 質問要旨

- ① 事業者の決定方法としては、競争入札と事業コンペしか手法はないのか。
- ② 姫路は駅から城への単線的な観光地であるため、短時間の滞在で終わってしまうので、コアゾーンの東西軸は市民向けの施設だけではなく、観光施設の必要性を議論していくべきではないのか。
- ③ コアゾーンの位置づけは、新たな都市機能の立地により、消費流出抑制と新規需要を創出し、都心部の集客力を強化する等、商業施設ばかりが導入されるように思えるが、その導入機能は、都心部まちづくり構想に縛られずに決めてもいいのか。
- ④ 姫路は駅から城に向かうという明確な目的があるため、議論を進めるにあたっては、城への眺望や軸線等を意識した計画にすべきではないか。

(3) 回答要旨

- ① 事業者の決定に向けては、様々な方式があるが、その中で競争入札方式と事業コンペ方式を例示したものであり、コアゾーン等については、事業コンペを実施したい。
- ② 高質な都市型ホテルを誘致することで、宿泊客を確保し、周辺を中心商店街のにぎわいに寄与するのではないかと考えている。コアゾーンは一定の条件をつけて民間に売却することにしていないため、民間から観光施設の提案があればいいが、公共機関が観光施設を建設することは困難である。
- ③ 姫路市都心部まちづくり構想では、コアゾーン等の理想とする導入機能を示しているが、平成 18 年に策定してから時間も経過し、社会情勢も変化しているため、本懇話会で市民や観光客を対象としたまちづくりを議論していただきたい。
- ④ 姫路駅北駅前広場は、お城を非常に意識しているが、コアゾーンは駅から東にありイベントゾーンへ繋がる東西軸になってくるため、お城ばかりを意識するのではなく、にぎわいとうるおいを市民に提供することを考えている。

『第2回 コアゾーン等整備検討懇話会』 要旨

1 日時・場所

- ◆ 日時：平成22年8月31日（火） 午後2時～4時
- ◆ 場所：市役所北別館403会議室

2 議事

(1) 報告・説明事項

- 他都市の事業コンペ事例、姫路市中心市街地の現状、民間需要・意向調査の概要

(2) 審議事項

- コアゾーン等の開発コンセプト（素案）

3 主な意見の要旨

- (1) コアゾーン整備の目的は、中心市街地の商業活性化か観光客のおもてなしかを最初に決めて検討を進める必要がある。
- (2) 観光客にも高齢者、子供、学生等様々な人がいるため、年齢層や対象を絞りすぎではない。
- (3) 駅前に多くの人が集まり住んでほしいので、公共的な施設や、高齢者を対象にした施設がいい。
- (4) 宿泊だけではなく、宴会ができるホテルを作らなければ、市民にとって価値がない。祭りの雰囲気を出せば、コアゾーンの開発が活きるのでは。
- (5) 駅と城の行き来が強いため、よほど魅力的なものがないと東へは行かない。市民が日常的に利用する施設や公共的な施設、人が住む機能も必要。
- (6) 都市づくりの基調は環境と文化だ。文化は大学があれば図書館を市民に開放するなどの複合利用を考え、環境はオープンスペースを水や緑を基調に活用するのが良い。

4 今後の進め方

今後の民間事業者への意向調査も踏まえながら、改めて開発コンセプトや導入機能等について議論する。